

訪り、通り	11	0.1
訪看、通り	11	0.1
訪介、訪り、用具	11	0.1
訪介、訪看、通り	11	0.1
通介、通り、用具	10	0.1
訪り、通介	9	0.1
訪介、訪り、通介	7	0.0
訪介、訪り、通介、用具	6	0.0
訪介、通介、通り、用具	5	0.0
訪看、通り、用具	4	0.0
訪看、通介、用具	4	0.0
訪看、訪り、用具	3	0.0
訪入	3	0.0
訪介、訪り、通り	3	0.0
訪介、訪看、通り、用具	3	0.0
訪介、訪看、通介、用具	3	0.0
訪介、訪看、訪り	3	0.0
訪介、訪看、訪り、用具	3	0.0
訪り、通り、用具	2	0.0
訪看、通介、通り	2	0.0
訪入、通介	2	0.0
訪介、訪り、通り、用具	2	0.0
訪介、訪入	2	0.0
訪り、通介、用具	1	0.0
訪り、通介、通り、用具	1	0.0
訪看、通介、通り、用具	1	0.0
訪看、訪り	1	0.0
訪看、訪り、通介、	1	0.0
訪入、用具	1	0.0
訪入、通介、用具	1	0.0
訪入、訪看、通り、用具	1	0.0
訪介、訪看、訪り、通り	1	0.0
訪介、訪看、訪り、通介、通り、用具	1	0.0

表 6-42 中度群のサービス利用組み合わせ (モデル事業)

	N	%
通介	1293	19.0
訪介	498	7.3
通介、用具	485	7.1
通り	354	5.2
用具	351	5.2
訪介、通介	335	4.9
訪介、用具	255	3.7
通り、用具	253	3.7
訪介、通介、用具	163	2.4
訪介、通り	82	1.2
通介、通り	81	1.2
訪介、通り、用具	77	1.1
通介、通り、用具	75	1.1
訪介、訪看、用具	59	0.9
訪介、訪看	53	0.8
訪看、用具	52	0.8
訪看、通介、用具	32	0.5
訪看	31	0.5
訪介、訪看、通介、用具	28	0.4
訪り、用具	25	0.4
訪入	21	0.3
訪介、通介、通り、用具	21	0.3
訪看、通介	20	0.3
訪介、訪看、通介	20	0.3
訪介、訪り、用具	18	0.3
訪介、訪り	17	0.2
訪り	16	0.2
訪看、通り	15	0.2
訪看、通り、用具	15	0.2
訪入、用具	15	0.2
訪り、通介、用具	13	0.2
訪り、通り、用具	11	0.2
訪介、通介、通り	11	0.2

訪り、通介	9	0.1
訪介、訪り、通り、用具	7	0.1
訪介、訪り、通介、用具	7	0.1
訪介、訪入、用具	7	0.1
訪介、訪看、通り、用具	6	0.1
訪介、訪看、訪り、用具	5	0.1
訪介、訪入	5	0.1
訪り、通り	4	0.1
訪看、訪り	4	0.1
訪看、訪り、用具	4	0.1
訪介、訪看、通り	4	0.1
訪介、訪入、訪看、用具	4	0.1
訪入、訪看、用具	3	0.0
訪介、訪看、通介、通り	3	0.0
訪り、通介、通り	2	0.0
訪看、通介、通り	2	0.0
訪看、通介、通り、用具	2	0.0
訪看、訪り、通介、用具	2	0.0
訪入、通り、用具	2	0.0
訪入、通介	2	0.0
訪入、通介、用具	2	0.0
訪入、訪り、通介、用具	2	0.0
訪入、訪看、通介、用具	2	0.0
訪入、訪看、訪り、用具	2	0.0
訪介、訪り、通介、通り、用具	2	0.0
訪介、訪看、通介、通り、用具	2	0.0
訪介、訪入、訪看、訪り、用具	2	0.0
訪り、通介、通り、用具	1	0.0
訪看、訪り、通り、用具	1	0.0
訪入、通り	1	0.0
訪入、訪り	1	0.0
訪入、訪り、用具	1	0.0
訪入、訪看	1	0.0
訪入、訪看、通り	1	0.0
訪介、訪り、通り	1	0.0

訪介、訪看、訪り	1	0.0
訪介、訪看、訪り、通介、用具	1	0.0
訪介、訪入、通り、用具	1	0.0
訪介、訪入、通介	1	0.0
訪介、訪入、訪り	1	0.0
訪介、訪入、訪看	1	0.0
訪介、訪入、訪看、通介	1	0.0

表 6-43 重度群のサービス利用組み合わせ (モデル事業)

	N	%
通介、用具	198	9.8
通介	172	8.5
用具	130	6.4
訪介、通介、用具	105	5.2
訪介、用具	94	4.6
通り、用具	75	3.7
訪介	58	2.9
訪介、通介	55	2.7
訪介、訪入、用具	45	2.2
訪看、用具	40	2.0
訪看、通介、用具	39	1.9
通り	38	1.9
訪介、訪看、用具	37	1.8
訪介、訪入、訪看、用具	35	1.7
訪入、用具	33	1.6
訪入、訪看、用具	33	1.6
通介、通り、用具	29	1.4
訪介、通り、用具	28	1.4
訪介、訪看、通介、用具	28	1.4
訪介、訪看	22	1.1
通介、通り	15	0.7
訪り、通介、用具	14	0.7
訪介、訪看、通り、用具	13	0.6
訪介、訪看、通介	13	0.6
訪入	12	0.6

訪看	11	0.5
訪入、訪看、訪り、用具	11	0.5
訪介、訪入	11	0.5
訪介、通り	10	0.5
訪介、訪り、用具	10	0.5
訪看、通介	7	0.3
訪看、訪り、通介、用具	7	0.3
訪介、訪り、通介、用具	7	0.3
訪介、訪入、訪看、訪り、用具	7	0.3
訪看、通り、用具	6	0.3
訪介、通介、通り、用具	6	0.3
訪介、訪看、訪り、用具	6	0.3
訪り、通り、用具	5	0.2
訪看、通介、通り、用具	5	0.2
訪看、訪り、用具	5	0.2
訪入、訪り、用具	5	0.2
訪入、訪看	5	0.2
訪介、訪入、通介、用具	5	0.2
訪介、訪入、訪り、用具	5	0.2
訪り、用具	4	0.2
訪入、通介、用具	4	0.2
訪介、訪り、通り、用具	4	0.2
訪り、通介	3	0.1
訪看、通り	3	0.1
訪介、通介、通り	3	0.1
訪介、訪看、通り	3	0.1
訪介、訪看、通介、通り、用具	3	0.1
訪り、通り	2	0.1
訪入、訪り	2	0.1
訪入、訪看、訪り、通り、用具	2	0.1
訪介、訪り	2	0.1
訪介、訪看、訪り	2	0.1
訪介、訪入、訪看	2	0.1
訪り	1	0.0
訪看、訪り	1	0.0

訪看、訪り、通り、用具	1	0.0
訪看、訪り、通介、	1	0.0
訪入、通り	1	0.0
訪入、通り、用具	1	0.0
訪入、訪看、通り、用具	1	0.0
訪入、訪看、通介	1	0.0
訪入、訪看、通介、用具	1	0.0
訪入、訪看、訪り	1	0.0
訪入、訪看、訪り、通介	1	0.0
訪介、訪り、通介	1	0.0
訪介、訪看、訪り、通り、用具	1	0.0
訪介、訪看、訪り、通介、用具	1	0.0
訪介、訪入、通り、用具	1	0.0
訪介、訪入、訪り	1	0.0
訪介、訪入、訪り、通介、用具	1	0.0
訪介、訪入、訪看、訪り	1	0.0

3) サービス利用回数

モデル事業における要介護度区分別のサービス利用回数の月平均を分析した結果、在宅タイムスタディにおいては、用具貸与において有意な差が示されたが、訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、用具貸与に軽度、中度、重度とすべて群の間に有意な差が示された。また、中度と重度の間を除き、通所介護、通所リハビリテーションにも有意差が示された。

表 6-44 要介護度区分別モデル事業におけるサービス利用回数表

		N	最小値	最大値	平均値	標準偏差	P 値	
訪介	軽度	5711	0	93	2.9	6.8	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	100	4.4	11.5	中度⇔重度	**
	重度	2027	0	104	8.8	19.1	軽度⇔重度	**
訪入	軽度	5711	0	13	0.0	0.3	軽度⇔中度	*
	中度	6809	0	12	0.1	0.5	中度⇔重度	**
	重度	2027	0	12	0.5	1.7	軽度⇔重度	**
訪看	軽度	5711	0	26	0.1	1.0	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	25	0.3	1.4	中度⇔重度	**
	重度	2027	0	31	1.1	2.9	軽度⇔重度	**

訪り	軽度	5711	0	17	0.1	0.8	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	25	0.1	1.0	中度⇔重度	**
	重度	2027	0	25	0.3	1.5	軽度⇔重度	**
通介	軽度	5711	0	72	2.6	4.5	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	92	3.7	5.7	中度⇔重度	
	重度	2027	0	30	3.6	6.0	軽度⇔重度	**
通り	軽度	5711	0	21	0.9	2.8	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	27	1.4	3.6	中度⇔重度	
	重度	2027	0	29	1.3	3.9	軽度⇔重度	**
用具	軽度	5711	0	84	0.2	1.2	軽度⇔中度	**
	中度	6809	0	13	0.7	1.3	中度⇔重度	**
	重度	2027	0	12	1.6	1.9	軽度⇔重度	**

※サービス利用回数の分析にあたっては、要支援高齢者を除いた。

第7章 在宅高齢者に提供されていたケア内容

1. 高齢者に提供されたケア内容

(1) 高齢者に提供されたケア内容別ケア発生率

1週間の中で1分でも提供されたケアを発生したとみなし、ケアの発生率を算出した。調査対象高齢者に提供されたケアのうち1%以上発生したケアの発生率を表7-1に示した。

90%以上発生していたケアは、「入浴」、「調理」91.2%であった。80%以上発生していたケアは、「観察・測定・検査」89.8%、「更衣」83.0%、「食器洗浄・食器の片づけ」82.6%、「水分摂取」80.4%、「洗濯」80.2%、「摂食」80.1%、「清掃・ごみの処理」80.0%といったケアで食事、入浴、掃除、洗濯という日常生活の維持に関するケアであった。

70%以上発生していたケアとしては、「外出時の目的地までの移動」72.1%、「薬剤の使用」71.7%で、さらに「移乗」42.1%、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」39.4%、「病気の症状への対応」18.6%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」17.4%で、移動や移乗、薬剤や処置にかかわるケアが提供されている高齢者が多かった。「配膳・下膳」、「敷地内の移動」66.3%、「口腔・耳ケア」65.7%、「洗面・手洗い」64.8%、「排尿」64.1%、「排便及びおむつ・パット介助」55.6%、「整容」52.1%といったケアも多く提供されており、排泄や整容においてもケアが提供されていることが明らかにされた。また、「基本日常生活訓練」59.5%と「スポーツ訓練」43.5%、「応用日常生活訓練」39.1%と高い割合が示され、在宅での日常生活訓練の提供がかなり高いことが特徴であった。

また、「清拭」23.8%、「体位変換」21.8%と入浴が困難な高齢者に対するケアも発生していた。さらに、「行動上の問題の予防的対応」が20.8%、「行動上の問題の発生時の対応」16.0%となんらかのBPSDにかかわるケアも2割程度、発生していた。

表 7-1 高齢者に提供されたケアの発生率

ケア内容	発生率(%)
11 入浴	91.2
31 調理	91.2
84 観察・測定・検査	89.8
18 更衣	83.0
33 食器洗浄・食器の片づけ	82.6
35 水分摂取	80.4
51 洗濯	80.2
34 摂食	80.1
52 清掃・ごみの処理	80.0
65 外出時の目的地までの移動	72.1
81 薬剤の使用	71.7

21	敷地内の移動	66.3
32	配膳・下膳	66.3
15	口腔・耳ケア	65.7
14	洗面・手洗い	64.8
41	排尿	64.1
101	対象者に関する間接業務	60.5
91	基本日常生活訓練	59.5
42	排便及びおむつ・パット介助	55.6
17	整容	52.1
59	その他の会話	44.5
94	スポーツ訓練	43.5
61	行事、クラブ活動	42.7
22	移乗	42.1
66	外出時の目的地での行為	39.5
83	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置	39.4
92	応用日常生活訓練	39.1
53	整理整頓	31.5
12	清拭	23.8
23	体位変換	21.8
72	行動上の問題の予防的対応	20.8
86	病気の症状への対応	18.6
82	呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	17.4
71	行動上の問題の発生時の対応	16.0
64	来訪者への対応	13.4
56	戸締まり・火の始末・防災	12.2
93	言語・聴覚訓練	11.8
24	起座	11.2
85	指導・助言	10.8
99	その他の機能訓練	6.2
54	食べ物の管理	5.4
62	電話、FAX、E-mail、手紙	5.4
25	起立	5.2
26	介助用具の着脱	4.0
39	その他の食事	3.8
55	金銭管理	3.6

95	牽引・温熱・電気療法	3.2
13	洗髪	3.0
19	その他の入浴	2.6
68	社会生活訓練	2.6
49	その他の排泄	2.4
63	文書作成	2.0
73	行動上の問題の予防的訓練	1.4
89	その他の医療	1.4
29	その他の移動	1.0
67	職能訓練・生産活動	1.0
69	社会生活支援のその他	1.0

(2) 高齢者に提供された合計ケア時間

在宅タイムスタディの対象者となった高齢者に提供されていた合計ケア時間については、以下の表7-2のようになった。1週間に高齢者に提供された合計ケア時間の平均値は、1575.0分となり、1日あたりに換算すると225.0分(3.76時間)であった。

最小は1日6.1分、最大は770.3分であった。770.3分は、時間に換算すると、11時間であり、1日あたりのべ約11時間にわたって、何らかのケアが投下されたことを意味している。

表 7-2 高齢者に提供されていた合計ケア時間の分布 (N=499)

1週間平均(分)	1週間平均(分)	標準偏差	変動係数	最小値	最大値	N
225.0	1575.0	127.5	56.7	6.1	770.3	499

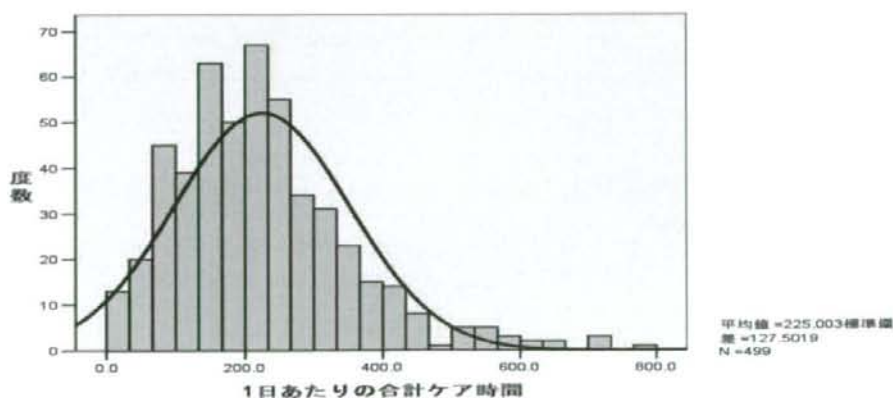


図 7-1 在宅タイムスタディ対象高齢者のケア時間の分布

1) 大分類による高齢者に提供されたケア時間

これまで介護保険施設において実施してきた1分間タイムスタディ調査結果と本年度に分析を行った在宅の要介護高齢者タイムスタディ調査の結果を比較するために、介護業務分類コード(資料編:トータルケアコード参照)の大分類別のケア時間およびその内訳を以下の表7-3、7-4、図7-2に示した。

① 在宅でのタイムスタディ調査で用いたケアコードの大分類

在宅でのタイムスタディ調査で用いたケアコードの大分類は、(1)入浴・清潔保持・整容・行為、(2)移動・移乗・体位交換、(3)食事、(4)排泄、(5)生活自立支援、(6)社会生活支援、(7)行動上の問題、(8)医療、(9)機能訓練、(10)その他(記録等)である。そこで、従来の介護業務分類コードと一致させるために、(1)、(2)、「31 調理」を除く(3)、(4)、「54 食べ物の管理」、「55 金銭管理」を除く(5)、(7)のケア内容を「療養上の世話」とし、(8)は、専門的看護に分類し、さらに(9)および「67 機能訓練・生産活動」、「68 社会生活訓練」「73 行動上の問題の予防的訓練」については、リハビリテーションと分類した。「63 文書作成」と(10)その他はケアシステム関連とし、その他の内容を在宅ケア関連と分類し、介護保険施設で実施されたケア提供時間と比較した。

② ケア時間の調査結果

まず、在宅ケアを受けている高齢者に提供されていた「療養上の世話」は、1日あたり150.6分で、全ケア時間の66.7%であった。これは、施設よりやや低い数値となっていた。施設においては、1日で平均値が207.9分で、全体の73.8%を占めていた。

次に、長かったのは、在宅においては、「在宅ケア関連」という分類にあたる内容であり、調理や洗濯といった内容であるケアが39.4分と示され、17.4%を占めていた。

在宅で、これに次いで長かったのは、「専門的看護」に関するケアで26.1分、11.6%であった。さらに、「リハビリテーション」は、5.4分、2.4%であった。これに対して、施設では、「専門的看護」に関するケアが46.6分と長かったが、「リハビリテーション」は、4.0分と在宅とほぼ同じであった。在宅ケア関連は、わずかに0.2分である。

在宅では、行事や連絡、申し送りというような「ケアシステム関連」に関するケアは短かく、4.3分、1.9%であったが、施設では、23.1分で8.2%を占めていた。

③ ケア時間の考察

この結果から、在宅で最も重篤な介護や看護を必要としている高齢者集団に提供されている合計ケア時間は、介護保険施設よりも在宅のほうが長かった。「療養上の世話」は、両群とも高い割合を示しており、「専門的看護」といった直接的なケアを含めると施設では、全体の約90%を占めていたが、在宅では、78.3%であった。

在宅において長かったのは、調理などの日常生活を支える「在宅ケア関連」のケアであ

り、施設では、ケアを提供するシステムを管理するためのケアに時間が費やされていた。

表 7-3 在宅における大分類によるケア時間の平均値 (N=499)

	1日平均 (分)	1週間平 均(分)	標準偏差	変動係数	最小値	最大値	割合(%)
療養上の世話	150.6	1054.5	93.3	61.9	1.4	703.4	66.7
専門的看護	26.1	182.8	62.3	238.5	0.0	566.6	11.6
リハビリテーション	5.4	37.6	13.3	247.8	0.0	155.0	2.4
ケアシステム関連	4.3	30.0	8.8	204.3	0.0	77.1	1.9
在宅ケア関連	39.4	275.8	25.7	65.1	0.0	164.9	17.4

表 7-4 大分類による施設および在宅における平均ケア時間およびその割合の比較

	在宅		介護保険施設	
	1日平均(分)	%	1日平均(分)	%
療養上の世話	150.6	66.7	207.9	73.8
専門的看護	26.1	11.6	46.6	16.5
リハビリテーション	5.4	2.4	4.0	1.4
ケアシステム関連	4.3	1.9	23.1	8.2
在宅ケア関連	39.4	17.5	0.2	0.1
合計	225.8	100.0	281.8	100.0

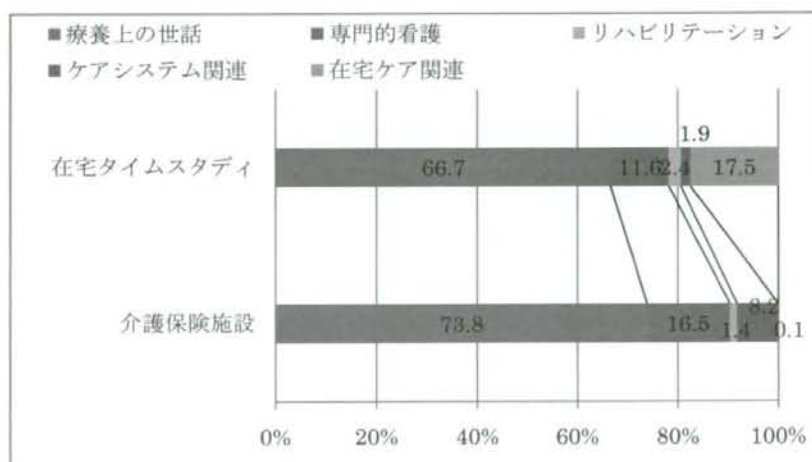


図 7-2 大分類によるケア割合の比較

(3) 発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

在宅において発生したケアのケア時間について検討した。ここでは、ケアが全く発生しなかった者を除外して、発生した高齢者にだけ提供された平均時間を分析した。これは、当該ケアが発生した場合に、どのくらい時間が必要とされるかを分析しようとしたためである。

しかし、いずれのケアも標準偏差が大きいことがわかった。これは、ケアの内容は同じであっても高齢者の状態によって、あるいは家族の状況、いわば家族の介護能力によって、提供時間が大きく異なっていることが推察された。

① 発生率の調査結果

まず発生したケアについて分析した結果、発生率が最も高かったのは、「調理」で91.0%を示していた。次いで、「食器洗浄・食器の片づけ」が82.2%、「更衣」80.4%、「洗濯」80.0%、「清掃・ごみの処理」79.8%、「摂食」71.9%と示され、1週間で1分以上、7割以上の高齢者に発生していたケアは、この「調理」、「食器洗浄・食器の片づけ」、「更衣」、「洗濯」、「清掃・ごみの処理」、「摂食」の6種類だけであった。いずれも在宅で生活をする者にとっては日常生活を維持するために必要な行為であった。

5割以上の高齢者に発生していたケアは、前述した6種類を除くと、「薬剤の使用」69.5%、「水分摂取」64.3%、「洗面・手洗い」61.3%、「敷地内の移動」59.1%、「入浴」58.5%、「対象者に関する間接業務」57.9%、「排尿」56.3%、「排便及びおむつ・パット介助」54.9%、「口腔・耳ケア」54.1%、「配膳・下膳」52.5%、「観察・測定・検査」50.9%の11種類のケアであった。

このほかのケアで1割以上に発生していたケアは、「外出時の目的地までの移動」が48.7%、「整容」39.7%、「移乗」36.1%、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」35.5%、「その他の会話」33.7%、「基本日常生活訓練」30.5%、「整理整頓」30.1%、「清拭」22.8%、「体位変換」20.4%、「行動上の問題の予防的対応」19.8%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」16.4%、「行動上の問題の発生時の対応」15.4%、「来訪者への対応」12.8%、「戸締まり・火の始末・防災」11.4%と示された。

移動に係るケアや BPSD に係るケアや整容や清潔に係るケア、そして「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」、また「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」16.4%といった医療的なケアへの提供が一定の割合で発生していることがわかった。

② ケア時間も含めた調査結果と考察

1日あたりで、ケア時間が最も長かったのは、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」で77.6分であったが、発生率は16.4%と高くなかった。次いで長い時間が提供されていたのは、「摂食」46.5分、「調理」37.3分、「食器洗浄・食器の片づけ」15.6分の食事に関するケアで、これらの発生率は、それぞれ71.9%、91.0%、82.2%であった。これより、

在宅では、食事に係る時間は長く、多くの在宅の高齢者の提供されるケアであることがわかった。

提供時間が長いケアとして、BPSDを持った高齢者に対して「行動上の問題の発生時の対応」が27.3分で、発生率は、15.4%、「行動上の問題の予防的対応」20.6分で19.8%の発生率が示された。これらのケアは、発生すると時間が長いケアであり、しかも変動係数が高いことから、要介護高齢者と家族の状況によって大きくケア時間も異なることが推察された。また「行動上の問題の予防的訓練」については、平均9.6分と示されたが、発生率は、わずかに1%であった。

「排便及びおむつ・パット介助」は23.4分で、発生率54.9%、「排尿」20.8分、56.3%と示され、これらの排泄に係るケアは時間が長く、発生している割合も高かった。

「入浴」は、15.2分で発生率は、58.5%、「更衣」は、10.3分で80.4%、さらに「洗濯」が11.6分で、80.0%に発生していた。これらのケアも日常生活の維持に必要なケアといえる。

この他に、1日当たりで平均10分以上提供されていたケアとしては、「その他の会話」12.9分、33.7%、「基本日常生活訓練」12.7分、30.5%、「敷地内の移動」12分、59.1%と示された。

表 7-5 発生したケアにおけるケア内容別ケア時間(発生率降順)

	1日平均(分)	1週間平均(分)	標準偏差	変動係数	N	発生率
31 調理	37.3	261.2	21.5	57.7	454	91.0
33 食器洗浄・食器の片づけ	15.1	105.4	11.4	76.0	410	82.2
18 更衣	10.3	72.0	9.4	91.8	401	80.4
51 洗濯	11.6	81.3	9.7	83.2	399	80.0
52 清掃・ごみの処理	8.2	57.6	7.8	94.9	398	79.8
34 摂食	46.5	325.3	32.9	70.7	359	71.9
81 薬剤の使用	8.3	58.0	8.7	105.2	347	69.5
35 水分摂取	8.8	61.8	11.2	127.3	321	64.3
14 洗面・手洗い	4.5	31.6	3.6	78.7	306	61.3
21 敷地内の移動	12.0	84.0	15.3	127.3	295	59.1
11 入浴	15.2	106.2	13.1	86.2	292	58.5
101 対象者に関する間接業務	7.2	50.1	10.3	143.2	289	57.9
41 排尿	20.8	145.7	21.7	104.3	281	56.3
42 排便及びおむつ・パット介助	23.4	163.6	27.8	119.0	274	54.9
15 口腔・耳ケア	7.7	53.7	7.4	96.8	270	54.1
32 配膳・下膳	7.1	50.0	7.8	109.0	262	52.5

84	観察・測定・検査	8.4	59.1	15.5	183.9	254	50.9
65	外出時の目的地までの移動	7.0	49.0	8.5	122.0	243	48.7
17	整容	3.7	26.1	3.9	105.7	198	39.7
22	移乗	6.0	42.2	7.5	125.0	180	36.1
83	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置	6.9	48.4	12.8	185.3	177	35.5
59	その他の会話	12.9	90.2	17.6	136.5	168	33.7
91	基本日常生活訓練	12.7	88.8	18.9	149.1	152	30.5
53	整理整頓	3.1	21.8	3.6	114.5	150	30.1
12	清拭	9.3	65.4	11.7	125.2	114	22.8
23	体位変換	9.4	65.7	13.2	140.5	102	20.4
72	行動上の問題の予防的対応	20.6	144.5	45.3	219.5	99	19.8
82	呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	77.6	542.9	110.4	142.3	82	16.4
71	行動上の問題の発生時の対応	27.3	190.8	57.6	211.3	77	15.4
64	来訪者への対応	7.9	55.1	13.0	165.6	64	12.8
56	戸締まり・火の始末・防災	2.5	17.6	2.4	95.7	57	11.4
24	起座	5.1	35.8	10.5	205.0	49	9.8
85	指導・助言	3.8	26.5	4.3	113.8	46	9.2
86	病気の症状への対応	5.4	37.6	6.6	122.9	42	8.4
66	外出時の目的地での行為	7.8	54.6	7.5	96.1	35	7.0
92	応用日常生活訓練	8.2	57.1	10.2	125.3	35	7.0
94	スポーツ訓練	5.2	36.1	6.4	124.3	31	6.2
25	起立	4.0	28.0	6.0	151.0	23	4.6
54	食べ物の管理	3.5	24.2	3.6	102.9	23	4.6
62	電話、FAX、E-mail、手紙	1.4	9.5	2.6	194.9	23	4.6
13	洗髪	4.8	33.8	9.4	195.8	16	3.2
26	介助用具の着脱	3.3	23.1	3.1	93.5	16	3.2
93	言語・聴覚訓練	3.7	25.8	2.8	76.2	15	3.0
99	その他の機能訓練	8.6	59.9	6.6	76.8	14	2.8
55	金銭管理	5.0	35.3	9.6	190.2	13	2.6
95	牽引・温熱・電気療法	4.6	32.3	4.0	86.0	13	2.6
19	その他の入浴	2.8	19.7	3.7	131.6	12	2.4
39	その他の食事	9.4	66.1	22.9	242.8	12	2.4
49	その他の排泄	3.5	24.7	5.7	160.8	11	2.2

63	文書作成	2.7	19.2	2.5	90.8	11	2.2
61	行事、クラブ活動	6.1	42.8	6.9	112.5	10	2.0
73	行動上の問題の予防的訓練	9.6	67.4	11.1	115.3	5	1.0
89	その他の医療	5.6	39.2	8.2	145.9	5	1.0
29	その他の移動	17.0	119.0	29.7	174.5	4	0.8
68	社会生活訓練	4.7	32.6	6.4	138.1	4	0.8
79	その他の行動上の問題	1.8	12.8	1.7	91.8	4	0.8
69	社会生活支援のその他	2.4	16.5	2.7	115.7	2	0.4
102	職員に関する間接業務	19.7	138.0	14.1	71.7	2	0.4
67	職能訓練・生産活動	8.6	60.0	.		1	0.2
109	その他の間接業務	0.5	3.5	.		1	0.2

2. 男女別高齢者に提供されたケア内容

(1) 男女別高齢者提供されたケア内容別発生率

男性に 90%発生していたケアは、「入浴」94.4%、「調理」92.8%、「観察・測定・検査」91.7%であった。女性では90%以上発生したケアとしては、「調理」90.4%のみであった。

また、80%発生していたケアは、男性では、「更衣」88.9%、「水分摂取」83.9%、「摂食」81.6%、「食器洗浄・食器の片づけ」、「洗濯」が80.0%であった。女性では、「入浴」89.5%、「指導・助言」88.5%、「食器洗浄・食器の片づけ」84.3%、「清掃・ごみの処理」83.1%、「摂食」80.2%であった。

70%発生していたケアは、男性では、「清掃・ごみの処理」73.9%、「薬剤の使用」73.3%、「外出時の目的地までの移動」72.2%、「口腔・耳ケア」71.7%、「洗面・手洗い」71.1%、「排尿」70.0%であった。女性では、「更衣」と「洗濯」が79.9%、「水分摂取」78.6%、「外出時の目的地までの移動」72.2%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」71.2%が示された。

男女どちらかに6割以上発生していたケアで男女に大きな差があったケアは、「観察・測定・検査」が、男性は91.7%に対して女性が38.1%、「薬剤の使用」は、男性が73.3%であるのに対して女性が0.6%と、男性での発生率が高いにも関わらず、女性がかかなり低かった。同様に「基本日常生活訓練」は男性が65.6%発生していたにも関わらず、女性は1.9%と低く、同様に、「スポーツ訓練」は男性が43.9%に対して、女性が9.3%とかなり低かった。「その他の機能訓練」も男性6.1%に対して、女性2.6%と示され、男女の差が大きかった。訓練に係る内容は、男性において発生率が高かった。

一方、「指導・助言」は女性が88.5%に対し、男性が12.8%と示され、「行動上の問題の予防的訓練」も女性が24.9%に対して、男性は1.7%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」は、女性は71.2%で、男性が18.3%と低かった。また、「牽引・温熱・電気療法」は、男性4.5%、女性43.1%であった。

本調査の男女による発生率の差は、医療処置の多さや訓練による発生率の差が大きいことがわかった。

表 7-6 性別の提供されたケア内容別発生率

ケア内容	発生率(%)	
	男性(N=180)	女性(N=313)
11 入浴	94.4	89.5
31 調理	92.8	90.4
84 観察・測定・検査	91.7	38.1
18 更衣	88.9	79.9
35 水分摂取	83.9	78.6
34 摂食	81.6	80.2
33 食器洗浄・食器の片づけ	80.0	84.3
51 洗濯	80.0	79.9
52 清掃・ごみの処理	73.9	83.1
81 薬剤の使用	73.3	0.6
65 外出時の目的地までの移動	72.2	72.2
15 口腔・耳ケア	71.7	62.3
14 洗面・手洗い	71.1	61.4
41 排尿	70.0	61
21 敷地内の移動	66.7	65.7
91 基本日常生活訓練	65.6	1.9
32 配膳・下膳	63.3	68.1
58 その他の日常生活	62.2	55.9
42 排便及びおむつ・パット介助	60.0	53.2
17 整容	58.3	48.2
101 対象者に関する間接業務	56.7	62.6
22 移乗	46.1	39.9
94 スポーツ訓練	43.9	9.3
83 運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉科及び手術にかかる処置	42.2	16.3
61 行事、クラブ活動	40.6	43.8
66 外出時の目的地での行為	40.6	38.7
59 その他の会話	37.2	48.6
92 応用日常生活訓練	35.6	55.9
53 整理整頓	30.7	31.6

12	清拭	27.2	22.4
23	体位変換	20.6	22.4
86	病気の症状への対応	20.0	9.6
82	呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	18.3	71.2
93	言語・聴覚訓練	15.6	40.6
64	来訪者への対応	14.4	13.1
72	行動上の問題の予防的対応	13.3	18.2
71	行動上の問題の発生時の対応	12.8	1.6
85	指導・助言	12.8	88.5
24	起座	11.7	11.2
56	戸締まり・火の始末・防災	9.5	13.7
26	介助用具の着脱	7.8	1.9
25	起立	6.7	4.5
99	その他の機能訓練	6.1	2.6
95	牽引・温熱・電気療法	4.5	43.1
19	その他の入浴	4.4	1.6
54	食べ物の管理	4.4	5.4
62	電話、FAX、E-mail、手紙	4.4	6.1
39	その他の食事	3.3	4.2
49	その他の排泄	2.2	2.6
55	金銭管理	2.2	4.2
63	文書作成	2.2	1.9
67	職能訓練・生産活動	2.2	0.3
68	社会生活訓練	1.7	3.2
73	行動上の問題の予防的訓練	1.7	24.9
102	職員に関する間接業務	1.1	1
13	洗髪	1.1	4.2
79	その他の行動上の問題	1.1	1.3
109	その他の間接業務	0.6	0.3
29	その他の移動	0.6	1.3
89	その他の医療	0.6	17.9

(2) 男女別高齢者に提供された合計ケア時間

男女別高齢者に1日あたりの発生したケアにおけるケア時間をみたところ、男性の平均値は241.6分（最小値20.0分、最大値727.8分）と示され、女性は217.2分（最小値6.1分、最大値770.3分）と示され、男性の方が有意にケア時間が長かった。

表 7-7 男女別提供されていたケア時間

	1日平均(分)	1週間平均(分)	標準偏差	変動係数	最小値	最大値	度数	P値
男性	241.6	1691.4	133.8	55.4	20.0	727.8	180	*
女性	217.2	1520.3	123.5	56.9	6.1	770.3	313	

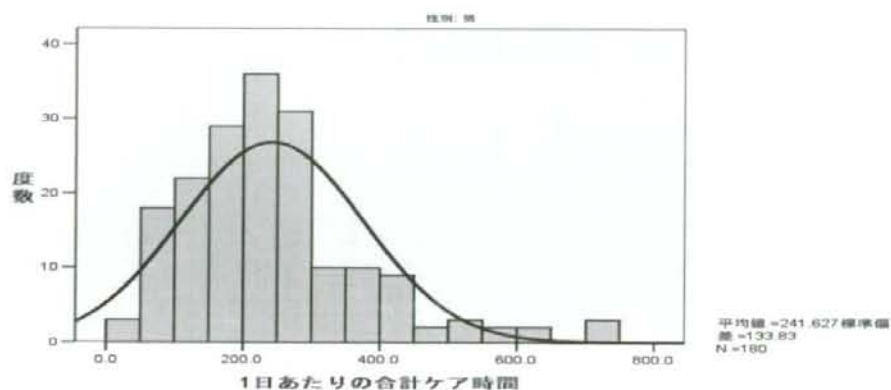


図 7-3 男性に提供されていたケア時間の分布

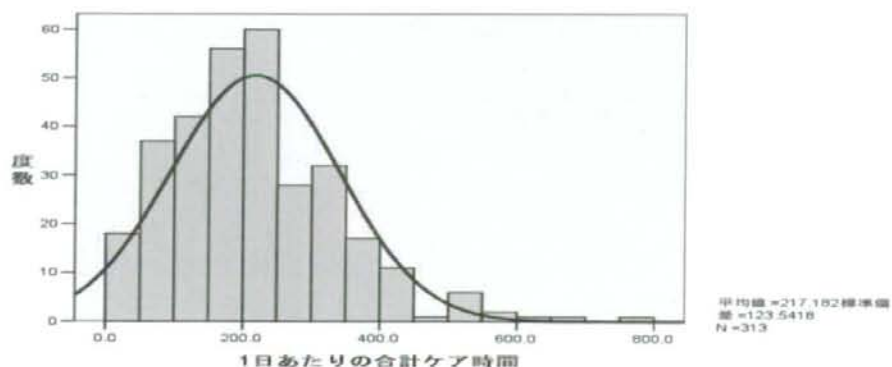


図 7-4 女性に提供されていたケア時間の分布

(3) 男女別発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

男女別に発生したケアにおける平均ケア時間において有意な差が示されたのは、「更衣」が男性 11.9 分、女性が 9.3 分、「薬剤の使用」男性 10.0 分、女性 7.3 分で男性の方が、女性よりも有意にケア時間が長かったことが示された。

表 7-8 男女別発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

	男性						女性					
	1日 平均 (分)	1週間 平均 (分)	標準 偏差	変動 係数	N	発生 率	1日 平均 (分)	1週間 平均 (分)	標準 偏差	変動 係数	N	発生 率
31 調理	35.8	250.6	19.6	54.6	167	92.8	38.4	268.7	22.6	59.0	282	90.1
18 更衣	11.9	83.6	11.2	94.0	157	87.2	9.3	65.0	8.0	85.7	240	76.7
33 食器洗浄・食器の片づけ	15.5	108.5	10.1	65.1	144	80.0	14.9	104.1	12.2	81.9	262	83.7
51 洗濯	12.4	86.6	10.1	81.9	144	80.0	11.1	77.8	9.4	84.2	249	79.6
52 清掃・ごみの処理	9.0	63.0	8.3	91.9	133	73.9	7.9	55.5	7.6	96.0	259	82.7
34 摂食	45.3	317.2	30.1	66.4	131	72.8	47.2	330.5	34.5	73.1	226	72.2
81 薬剤の使用	10.0	70.0	11.2	112.2	128	71.1	7.3	51.3	6.7	91.0	216	69.0
14 洗面・手洗い	5.0	34.8	4.0	81.2	125	69.4	4.2	29.5	3.2	74.9	178	56.9
35 水分摂取	8.3	58.3	8.1	97.3	122	67.8	9.2	64.6	12.9	139.4	196	62.6
11 入浴	16.5	115.2	13.5	81.9	117	65.0	14.4	100.9	12.8	89.0	173	55.3
41 排尿	22.8	159.4	22.6	99.3	113	62.8	19.6	137.3	21.1	107.8	166	53.0
21 敷地内の移動	13.5	94.5	16.6	123.3	111	61.7	11.1	77.8	14.4	129.7	182	58.1
15 口腔・耳ケア	8.0	55.7	8.7	109.4	110	61.1	7.5	52.4	6.5	86.4	157	50.2
42 排便及びおむつ・パット介助	21.5	150.5	23.0	106.7	106	58.9	24.3	170.4	30.7	126.3	165	52.7
101 対象者に関する間接業務	7.2	50.1	10.0	139.3	99	55.0	7.3	50.8	10.5	144.8	186	59.4
65 外出時の目的地までの移動	6.9	48.4	8.1	117.6	94	52.2	7.0	49.1	8.9	126.5	147	47.0
84 観察・測定・検査	8.2	57.5	13.3	162.1	93	51.7	8.6	60.2	16.7	194.	160	51.1